液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

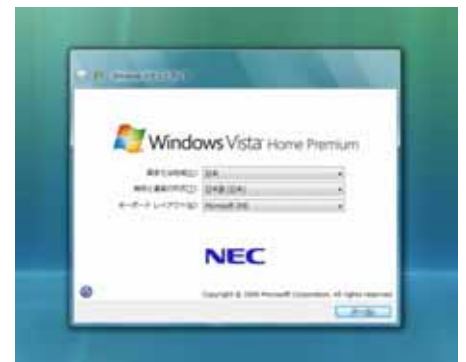
※：社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を添付マニュアルの仕様一覧に記載しております。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。

「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

初めてパソコンに電源を入れるときのご注意

初めてパソコンの電源を入れるときには、必ず添付のマニュアル『準備と設定』、または『セットアップマニュアル』および『ユーザーズマニュアル』をご覧ください。

別売りの周辺機器（LAN ケーブル、USB メモリ、メモリーカード、プリンタなど）は接続しないでください。セットアップが正常に終了できないことがあります。

電源スイッチを押してから数分後に右図のような「Windows のセットアップ」という画面が表示されます。
（モデルにより若干イメージが異なります）
その間、Windows のロゴや NEC のロゴが表示された後などに一時的に(約 1～3 分程度)画面が真っ暗な状態が続くことがあります。
これは故障ではありませんので、**絶対に電源を切らないでください。**

また、セットアップ手順がすべて終わるまでに、約３０～５０分かかります。
(モデルにより時間が異なります)
その間にも自動的に再起動したり、画面が真っ暗な状態が続くことがありますが、あわてて電源を切ったりせずに、そのままお待ちください。

最終的に右図のような「ウェルカムセンター」という画面が表示されます。
（モデルにより若干イメージが異なります）
これで最初のセットアップ手順は完了です。

853-810603-747-A

810603747A

（裏面もご覧ください）

次回から、パソコンの電源(Windows)を入れると、1〜2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。

2回目以降にパソコンの電源を入れる場合は、初めて電源を入れたときと同様にデスクトップ画面が表示されてCD／ハードディスクアクセスランプが点滅しなくなるのを待ってからご使用ください。途中で電源スイッチを押したりしないでください。
また、無理に電源を切ると故障の原因となることがあります。電源を切る場合は添付のマニュアル『準備と設定』、または『セットアップマニュアル』をご覧の上、マウスまたは NX パッドを操作して「スタート」メニューから電源を切ってください。

再セットアップ方法について

本機では、パソコンをご購入時の状態に戻す方法としてハードディスクから再セットアップする方法を採用しています。
この方法は、手順も簡単で比較的短時間で再セットアップができます。

再セットアップディスクをご自分で作成してご利用にもなれます。この方法は市販のDVD-R／DVD+R 媒体または CD-R 媒体を用意し、お客様に再セットアップディスクを作成していただいて、この媒体で再セットアップする方法です。

また、作成済みの再セットアップディスクの販売もしています。
再セットアップの方法や再セットアップディスクの作成、購入先については添付のマニュアル『パソコンのトラブルを解決する本』、または『ユーザーズマニュアル』の再セットアップに関する項目をご覧ください。

再セットアップを行う場合、または再セットアップディスクを作成する場合は、別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を全て取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルや LAN ケーブルも取り外してください。
USB/IEEE1394/PC カードスロット/メモリスロットに接続可能なメモリやハードディスクなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

■もしものときに備えて

本機には、再セットアップディスクは付属していません。ハードディスクが故障したりハードディスク内にある再セットアップ用データを消去した場合、ハードディスクから再セットアップすることができなくなります。
そのような場合に備え、再セットアップディスクを作成しておくことをお勧めします。
※再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。ご購入後、なるべく早い段階での作成をお勧めいたします。